



# 埼玉県立浦和西高等学校

Urawanishi High School

発行日 令和元年10月26日  
学校通信 ～西高は今～  
発行責任者 校長 杉林 正敏  
HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

## 沖縄で平和を想う

校長 杉林 正敏

2学年の修学旅行が10月2日(水)から5日(土)まで3泊4日で行われました。私も同行し、生徒・先生たちとともに沖縄の歴史と自然に触れてきました。

今回の修学旅行は、学年全体を1・3・4・6・9組と2・5・7・8組の二つに分け、同じ行き先(那覇と宮古島)に日にちを替えて訪れました。

主な内容は、那覇では平和学習、宮古島では体験学習(家業体験、マリン体験等)でした。

那覇の平和学習は1日半の日程で、ひめゆり資料館、平和祈念資料館、アンティラガマまたは轟ガマ、佐喜真美術館を見学しました。

生徒たちは事前学習の成果もあり、各資料館の展示一つ一つから平和の尊さを実感していたようでした。

沖縄戦で住民たちの避難場所になったガマでは、暗く湿気のある洞窟の中でひめゆり隊員が生活する過酷さに生徒たちそれぞれが思いを致したことと思います。

そして佐喜真美術館では、故・丸木位里、俊夫妻が描いた「沖縄戦の図」に圧倒されつつ見入っていました。

今回「沖縄戦の図」全14部が開館以来初めて一挙に公開されるとのことで、沖縄テレビから本校生に取材をし、ニュースとして報道したい旨の依頼がありました。

インタビューを受けた生徒たちの映像は翌日放映されましたが、取材の的確に感じる西高生の様子を見て、未来の日本を担う人材としてとても頼もしく感じました。

宮古島では、生徒たちは2日間の民泊をしながら、午前・午後の部に分かれ、各ご家庭の家業を体験したり、マリンスポーツを体験したりしました。

美しい海に囲まれた島で暮らす人々との交流、沖縄戦の跡や資料を目の当たりにする学習により、生徒たちは「命(ぬち) どう宝」(命こそ宝)の精神に触れ、恒久平和の大切さを想ってくれたことと確言しています。

## 1 沖縄修学旅行(2学年)



今回の修学旅行では、1日目から那覇空港組と宮古空港組との2グループに分かれ、別々の日程での実施となりました。それぞれのグループとも沖縄戦における平和学習や沖縄の自然や文化を学ぶことのできる様々な体験学習、また、宮古島での民泊による現地の方々との交流など、非常に充実した修学旅行となりました。



修学旅行実行委員長が旅行のしおりの巻頭言に「主題も主体もすべて私達、美しい瞬間を創りましょう」と書いていました。きっとその通りの思い出采、修学旅行となったことと思います。

日程概要を簡単に紹介します。

### 【第1日目】10月2日（水）

〈1・2・4・6・9組〉

羽田空港→宮古空港

伊良部島に移動し、入村式後に民泊

〈2・5・7・8組〉

羽田空港→那覇空港

ひめゆり資料館、平和祈念資料館、ガマ見学

那覇市内のホテル泊



### 【第2日目】10月3日（木）

〈1・2・4・6・9組〉

民泊先での家業体験、マリン体験等（バナナボート、シーカヤック、シュノーケリング、貝細工）民泊

〈2・5・7・8組〉

佐喜真美術館見学、国際通り班別研修

那覇空港→宮古空港 入村式後に民泊

### 【第3日目】10月4日（金）

〈1・2・4・6・9組〉

離村式 宮古空港→那覇空港

ひめゆり資料館、平和祈念資料館、

ガマ見学 那覇市内のホテル泊

〈2・5・7・8組〉

民泊先での家業体験、マリン体験等

（バナナボート、シーカヤック、シュノーケリング、

貝細工等） 民泊



### 【第4日目】10月5日（土）

〈1・2・4・6・9組〉

佐喜真美術館見学、国際通り班別

研修 那覇空港→羽田空港 解散

〈2・5・7・8組〉

離村式 宮古島→伊良部島→

宮古島宮古空港→羽田空港 解散



今回の修学旅行では、宮古島市のご家庭に民泊ということでお世話になりました。ありがとうございました。

## 2 朝日新聞「青春スクロール」に掲載開始



朝日新聞の埼玉版の「青春スクロール・母校群像記」というコラムに、10月12日（土）から毎週土曜日、浦和西高校編が全10回で連載されます。

このコラムは、「各界で活躍する卒業生の思い出を通じ、母校のすばらしさを紹介」というもので、これまで春日部高校と川越女子高校が取り上げられました。

10月12日の第1回は、昨年のサッカー日本代表監督・西野朗さんをはじめとするサッカー部OBの方々、19日の第2回は、往年のスポ根テニス漫画「エースをねえ！」の山本鈴美香さん、人気高校野球漫画「おおきく振りかぶって」のひぐちアサさんをはじめとする漫画界などで活躍の方々が紹介されました。

あと8回連載されますので、ぜひご覧ください。

## 3 1学年「パラリンピックを考える」実施



10月18日（金）、1学年対象に「あすチャレ！ School～パラリンピックを考える～」を実施しました。

講師として、車椅子バスケットボールチーム「NO EXCUSE（言い訳をしない）」副キャプテン橘 貴啓選手とパラサポートセンターのスタッフの方々を迎え、車椅子バスケの説明、デモンストレーション、車椅子バスケ体験、最後に橘選手による講演という内容で実施しました。講演では、夢・希望を持ち、あきらめないで頑張してほしいというメッセージをいただきました。